※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	発展時事社会	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	フォーラム公共 2025（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

SDG s の目標 11「住み続けられるまちづくりを」を主軸とし、金剛高校のある富田林市を中心に、日本の地方都市の抱えるさまざまな課題を探求していく授業です。時事的なテーマだけでなく、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、公民としての資質・能力を育成することを目指します。フィールドワークや講演などのアクティブラーニングもおこないながら進める予定です。しっかり自分の考えを持ち、それを発表やレポートなどの形で表現しましょう。

2　学習の到達目標

(1)考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解します。また、諸資料から、必要な情報を調べてまとめる技能を身に付けます。
(2)現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、構想したことを議論する力を養います。
(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養います。また、人々が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。また、諸資料から、必要な情報を調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	SDGｓとは何か？	SDGsとは？ 「住み続けられるまちづくり」とは？ SDGs未来都市とは？	a:SDGｓについて理解する。「住み続けられるまちづくり」について考える態度・知識を身に着ける。 b:SDGｓと「住み続けられるまち」について、まとめてレポートにするなど、適切に表現する方法を身に着けている。 c:現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察
	公共的な空間をつくる私たち	社会のなかの私たち 日本の文化と社会 社会の多様性 宗教と文化 ケーススタディ「富田林寺内町フィールドワーク」	a:伝統や文化、先人の取組や知恵に触れ、自らの価値観を形成する。また、個々は他者の価値観を尊重することができる存在であることを理解する。 b:フィールドワークを通して地域の課題を見いだす。課題の解決に向けて、事実を基に考察・構想し、効果・実現可能性などを指標にして、自分たちの考えを説明することができる。 c:発表などで、自分の意見を積極的に他者に伝えることができる。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ 発表	授業ﾉｰﾄ 発表 授業観察
2	防災を考える	災害の種類 防災と減災 被災と復興 避難所運営ゲーム(HUG)体験	a:災害時に必要な知識と、事前の備えの大切さについて理解している。 b:災害・避難の場面において、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したことを表現している。 c: 自分と家族に必要な備えと行動を追求しようとする意欲的な態度が見られる。 グループワークなどで、自分の意見を積極的に他者に伝えることができる。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ グループワーク	授業ﾉｰﾄ グループワーク 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	メディアリテラシー	メディアリテラシー フェイクニュースとは？ バイアスとは？ ハザードマップの活用	a:諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 b:災害・避難の場面において、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したことを表現している。 c:自分と家族に必要な備えと行動を追求しようとする意欲的な態度が見られる。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ 発表	授業ﾉｰﾄ 発表 レポート 課題 授業観察
3	持続可能な社会をつくるために	日本の中小企業 日本の農業問題 富田林の特産品について考える	a:富田林を中心に、日本の中小企業における事業承継の施策や日本の農業の現状について理解する。 b:よりよい地域社会の構築へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から地域の課題を見いだす。その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 c:地域社会の課題について模索し、自分なりの解決策を主体的に提案できる。	発問評価 レポート 課題	発問評価 授業ﾉｰﾄ 発表	授業ﾉｰﾄ 発表 レポート 課題 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度